

塩竈市営汽船新旅客船「みしお」について

はじめに

塩竈市営汽船旅客船「みしお」は平成8年3月15日、横浜市の横浜ヨット株式会社において建造され引き渡された。本船は塩竈市営汽船の運営する主要航路に就航する最新鋭の旅客船である。なお、船名「みしお」は、船名応募の中から入選決定された。

一般計画

塩竈市定期航路、塩竈－桂島－野々島－石浜－寒風沢－朴島を航行する旅客船で、客船として必要な設備を完備し、十分な復原性、良好な推進性能、耐航性能および操縦性能を具備し、堅守かつ優美な外観を備えることとしている。

(1) 主要目等

全長	26.00m
垂線間長	23.00m
幅 (型)	6.00m
深さ (型)	2.00m
計画満載喫水	1.12m
総トン数	77.00t
載貨重量	25.28t
航海速力	13 ノット
航行区域	平水区域
最大搭載人員	263名

(2) 主機関等

新潟6NSE-M (防振仕様)
550PS×1950RPM
発電機用機関
ヤンマーディーゼル4PHL-N
38PS×1800RPM
発電機
30KVA, AC225X, 3φ
DC24V, 25A

(3) 航海計器

操舵機 0.6t-m
レーダー 14インチ、カラー

(4) 特別設備

フラップ付舵
バウスラスター 推力600kg
冷房機 38800kcal/h
暖房機 30000kcal/h
電気温風ヒーター 300W×6
汚物処理装置 循環式

船体

本船は軽構造暫定基準に準拠し、平水区域の条件に合致した十分強固な構造とし、防振に充分留意した設計となっている。船体構造は縦横混合型で、甲板室、上部構造は耐海水アルミで、船体は高張力鋼を採用している。

舵

フラップ付舵 (シューピース付) 1枚とし、舵面積比 $AR/Ld \div 1/36$ である。

防熱・防音工事

操舵室、客室の暴露甲板下、側壁および機関室の天井及び周囲壁に防熱および防音工事を施工する。なお、上甲板室内での音のレベルは78dB以下としている。

機関

主機関は、4サイクルディーゼル機関550ps1基を装備し、逆転減速機およびプロペラ軸を介してプロペラを駆動する。プロペラは固定ピッチプロペラを装備している。ディーゼル機関直結の発電機1基にて、船体の必要電力をカバーしている。なお、機関室内機器の監視は操舵室内で遠隔操作によって行う。

バウスラスターは主機関により駆動される油圧ポンプにより、操作は操舵室からの遠隔操作により行われる。舵取機は電動油圧式0.6t-mを装備し、操舵室より制御を行う。

客室

上甲板上および遊歩甲板に客室を設けそれぞれ、100名および36名の乗客を収容する。上甲板上客室には低背当連続形固定式4人掛けの椅子21個、および低背当長椅子兼簡易ベッド5人掛け1個を、遊歩甲板上客室には低背当連続形固定式3人掛け11個および低背当長椅子3人掛け2個が設置されている。更に、TV、カード式船舶電話、時計等の備品や車椅子置場が設けられる。

甲板上に女性用兼車椅子用便所、男女兼用便所を備えるなど、交通弱者への配慮を払っている。

おわりに

本船の基本設計および建造監理を進めるにあたり、常に積極的なご支援とご高配を賜った関係者各位に対し厚くお礼申し上げます。また、建造にあたっては横浜ヨット株式会社をはじめとし、関連メーカー各位が高度な技術と誠意をもって努力されたことを付記します。

